

---

# ナインボール××IS

D X A

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

ナインボール××IS

### 【NNコード】

N6976Z

### 【作者名】

DXA

### 【あらすじ】

もしもナインボールが人間をイレギュラーとしてみたら?!  
もしもナインボールが機械の体をもちACFAの武器を使って人間と戦争をはじめたら?

IS学園に潜入し、なにをしてなにをなすのか?・・・・・  
原作にはいるのしばらく先かな?=??  
どうでしょう?・?・?

# 1章 1話（前書き）

ネタです。ですが

# 1章 1話

・・・・・

目の前で田がさめる。

私はどうなつている

現在の状況は？場所は？私の任務は？

・・任務を再確認・。

イレギュラー  
人間の排除

敵対勢力検索；・・・

認識・・・IS  
インフィニットストラトス

ISの情報を収集・・・

機体数・467機

宇宙空間での使用を想定されたスース・・・

しかし、宇宙への進出はまつたく進まず

スペックをもてあました各国は現在『兵器』へと変化。

しかし各国の思惑から『スポーツ』用のパワードスーツ。

男は使えない兵器。

しかしその性能は戦略級として認識。

現在はアラスカ条約により、ISの軍事利用は禁止

アメリカ、ロシアなどハッキングした結果

軍事利用の計画があると発見

現在の装備もしくはテレタ・任務を…・…・…検索…・…・…・…・…・…終了…・…

所有機体・・・・ナインボール

## シグナル子を使用した装備を発見

アリとよにれる機動兵器を発見・・・

アコとエスによるオンラインホールの量産期を開発を優先任務とする・・

自機をナイジボールの発展型、ナイジボール・セラフに進化させる・

イレギュラーの中へ潜入するため人格をタブーンロー... ...

終了

## イレギュラー排除のため任務、開始。



## 1章 1話（後書き）

ナインボールがISの世界にきたのは、ISが発表されてからすぐです。

## 2話(漫畫版)

トモですこません・・・

SIDE ナインボール

あれから1年が経過した

現在はAC生産工場を建設中だ。

あと少しで建設が完成するだろう、生産工場の居場所は北極にある海中に位置しているので企業や国に滅多にみつかることはないだろう

もしみつかつてしまつても何も残さないよつて自爆する機能も念のためつけておく

だが、この機能を使うことはおきることはないだろう  
なぜなら、警備、防衛用にAI搭載型のACを配置する予定だ  
さらにはジマ粒子搭載型で・・・

間違えないよつておくが擬似搭載型ではない。

建設が完成したら次はコジマ粒子を研究しなければならない  
コジマ粒子が完成したら次は擬似コジマ粒子に改良しなければなら  
ない・・・

擬似コジマ粒子は「える効果は下がるが有毒性をなく  
した  
粒子として開発する予定だ

これを開発するためには莫大な資金が必要なため企業をつくる」とに決定した。

企業名はレイヴンズ・ネスト

社員は人間ではなく、私を「コピー」したAIを使って計画的に実行するつもりだ

もちろんオリジナルが上で「コピー」が下だ

ああ、言い忘れていたが私の動力源は「AIの「コア」だ  
ここにきて調べてみたが私の動力源が変化しているのに気づきフリーズを起こしてしまった

どうやらもともとの動力と「AIの「コア」が融合をしたことで永久機関として機能しはじめたようだ

おそらく私が機能停止するのは人間として致命傷を負い死ぬか、ナインボールとして壊れないかぎり

私は壊れることはないだろう・・・

あと10%で生産工場が完成するので完成した暁には「AC」の技術を応用した「AI」専用の武器を

企業として全世界に売り、いざれは全世界と戦争をすることができる戦力を蓄えるつもりだ。

だがそれなりに時間がかかってしまうだろ？。

だがこちら側のACは性能が高くなくては少し乗った程度の操縦者

ACは基本的にISには勝つことができるが、それには条件がある  
それは、

ISは生まれたばかりの兵器なのでよっぽどの操縦者ではなくては  
ACに勝つことはできないだろう・・・  
いまの時代の戦力比としたらISが3でACが1という計算がでた  
つまりISが3機でAI搭載型ACを撃破することができる計算だ

しかし、ISとACの戦力比は3対1だ

- ・ISの工事が終了したら、次はACの機体、弾薬、武装の生産だ。  
ISの工事には必ず必要なものがあるので少々時間がかかるだろう・・・
- ・こちらにはAFの建設や防衛設備の問題もある・・・

でも IIS 一機で破壊されてしまう。

任務遂行までの道のりは長いだろう

## 2話（後書き）

おやりく、少しずつ感情をナインボールは手にしていきます  
原作突入はまだまださきかな ???

## SIDE ナインボール

擬似コジマ粒子が完成した。

生産工場兼、研究所で5年の実験の末、擬似コジマ粒子の実験が完成し

現在生産しているACに装備するようにしている。

ただし、  
PAの実験は行つたがAAの実験は行つていなし。  
アサルトアーマー

いまの世の中、AAを使って稼動実験をしたら各国や軍事企業などがここに虫のよう

集まつてき、この場所を発見するだろ？・・・

いまならHSをつかわないかぎりこの防衛システムを抜けることはできないだろ？

なぜなら、ここには無数の無人機があるため特殊部隊だろ？がなんだろうが侵入することは絶対に不可能だ。

だがISに対しての防衛設備はさすがにむりがある・・・  
ここ的重要設備にはいたるところにAAがある。

AAをつかえばISを消し飛ばすことはできるだろ？

現在、北極にあるここ、研究所でACとISの研究を行っているがここ少し問題が発生した・・・

ISとACの戦闘ショミレーションを何度も行つてみたが、ACはISの翻弄されてしまう・・・  
ACの装備はここより何世代も優れているが、ISは機体の小ささでスピードが優れているために優れているはずのACが翻弄されないと判明した。

結論として、ACの10mサイズをISの3~2mサイズにすればこちらが有利になると判明した・・・  
だがさすがにACをISサイズにするのは無理がある。

そこでの世界で生まれたISロアを解析し、生産するところの結論に至っている。

私のからだは人間になつており心臓とISロアが融合している状態だ

だがそこから解析しようにも、私が私自身を殺さなくてはHISのP  
Aを解析することはできない  
それは無意味な行動と言える。

そこで私がとつた行動は企業としてHISのP  
Aを手に入れることだ。

幸い、レイヴンズ・ネストは軍事会社でもありHISの武器などを開  
発、生産、販売している

武器の効率をこの世界のレベルにあわせてだ。

ただし私が開発した武器、O.D.、装備などを違法にP  
Aペーパーして売り  
出していることに

私は目をつけ、その企業が行つた非人道的な実験や背後についてる国の  
知られたくないことを

一部ハッキングをし、その国を脅して手に入れることにした。

そして現在その計画を実行中だ。

今、目の前にホワイトハウスの一室の、扉の前にいる・・・  
おそらくこの中にGA社の社長がいるのだろう。

こんな状況になつてゐるここまで経緯を説明しよう・・・

私が北極のレイヴンズ・ネスト本社からメールで直接、連絡をとつたところ簡単にアポイントがとれた。

だが、返信メールにスパイウイルスが混入しており本社の技術データなどを盗もうとしていたので、

報復にGA社のこれまで行つた違法な取引や賄賂、非人道的な実験などのデータを

ハッキングしてGA社とアメリカ合衆国のホワイトハウスに送りつけたら、

GA社から連絡があり、取引の場所をかえてほしいと返信が送られてきた。

そしていまに至るというわけだ。

時間を確認して部屋に入つていつたら、2人のサングラスをかけた

男女のSPと、GA社社長、アメリカ合衆国副大統領がいた。

赤外線カメラで確認したところ、男の方はSPで女のほうはIIS操縦者みたいだ

- ・ 私が入つていつたら、どうやら部屋にいる全員が驚いているようだ。
- ・ なぜ驚いているのか自分の姿を再確認してみる。

私の現在の状態は155cmの赤と黒が混ざっている女の姿でどうにでもいるような容姿だ

ただ目が死んでいることをのぞけばだが・・・

服装は黒のスースで違和感はないはずだ。

だがなぜか目の前の4人は固まっているようだ

そこで私は原因を聞いてみることにした

「なぜ、あなたたちは固まつていらっしゃるのでしょうか?」

すると硬直から回復した副大統領が違和感を感じさせないような笑顔でじつじつた

「いや、これからやつてくるR・N社の人間がどんなものだう」と  
考えていたらこんな子供だつたなんてね、

君たちは我が国アメリカをなめているのかな?」

「いえ、あんな非人道的な実験を行つてゐるどこの国がいえる立

場ですか？」

「くっ、それでなんのようなんですか？わざわざ、私も暇ではないのですよそんな『マジ』ときで」

副大統領は忌々しく私にそういったところで肥え太ったG A社社長が便乗してきた

「お前はなにをしにきたんだ！！」この餓鬼！と罵ってきたが私は作り物の心しかないのではそれは響かない。

2人のJSAは二ちらがてを出さない限り静観するようだ。

私は早くコアを解析したかったので、手早く用件を済ますことにした。

「用件は簡単です、わが社のコピーを不正に作りましたことについてですが、その賠償金としてJSAのコアをいただきたいのですが、どうでしょうか？」

「ふざけるな！、JSAは国防に必要な軍事力だ！！はいそうですかと渡せる分けないだろ？！それにG A社が不正をしたこととわが国が非人道的な実験を許可するわけないだろ？！」

「そうですか・・・まあ残念です、これが世間の人目に出るだなんて。」

そういうて私は副大統領に束になつた書類を渡す。

「なつ……」「これは……ビ」で見つけた！」

驚愕の表情をした副大統領に驚くのをみてSPたちは怪訝な表情をしたが副大統領はかまわざいう。

「これを、どうやってに入れたのだ……さもなくば貴様は国家反逆罪だぞ！」

その言葉を聞いた瞬間、SPは私に向かって構えるが私は2人に渡したものと同じものを配つた。

「なつ……」「れは……」

「いつたいどういうことですか！！副大統領」

SPたちは、書類をみてすぐに顔色を悪くしている

そこで私は追い討ちをかけた。

「それで、賠償金を払つてくれる気持ちになりましたか？」

副大統領は忌々しい顔で私にうみつけながら承諾した。

私はE.S.コアを非公式に受け取った後、どうめをさすよ」といった

「ああ、それとE.S.のコアを取り返したかつたらR・N社にさもざまなことをしてみなさい、その瞬間アメリカは崩壊するわよ。」

これで私はI-Sのコアを手に入れることができた。

これならばコアを解析してACにコアを乗せることができるのだろう

だが同時にAFの建設もこなさなければならぬ。

アーマズフォート

それからこれから必要なI-Sのデータ収集にはI-S学園に潜入すればデータはてに入るだろつ。



少し長いです……（驚）

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n6976z/>

---

ナインボール××IS

2011年12月28日21時48分発行